

別紙様式 1

平成26年度 研究推進計画

(昭和北)中学校区 校番(24) (昭和西)小学校

校長名 尼子 敏久

1 研究主題, 研究内容・方法等について

学校教育目標

ゆたかな心 (ほめる)
～しあわせづくり～

■ 1 研究主題

確かな学力を身に付ける児童の育成

～学力調査の結果分析を生かし、思考力・表現力を育成する算数科の授業改善を通して～

■ 2 主題設定の理由

(1) 児童の実態

平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果(6年生実施)

算数A 平均正答率73.5%(全国平均77.2%)→全国平均との差 -3.7ポイント
→領域別では、数と計算以外のすべての領域において全国平均正答率を下回った。

算数B 平均正答率55.5%(全国平均58.4%)→全国平均との差 -2.2ポイント
→与えられた条件をもとに判断したり理由や求め方を記述したりする数学的な考え方に課題がある。

平成25年度 「基礎・基本」定着状況調査の結果(5年生実施)

算数科 平均通過率72.9%(県平均 70.1%)→県平均との差 +2.8ポイント

算数科 全児童通過率の割合

通過率	30%未満	30%以上 60%未満	60%以上 80%未満	80%以上
本校平均 (%)	0	24.4	40.2	35.4
昨年度平均 (%)	2.2	29.0	22.6	46.2
広島県平均 (%)	3.5	24.3	39.4	32.8

→通過率が30%未満の児童がいなかった。通過率の高い児童が増え、全体の平均通過率が広島県平均を上回った。

平成26年1月児童アンケートの結果（全学年実施）

○「算数の勉強は好きですか。」の項目の肯定的評価の割合

	1・2年生	3・4年生	5・6年生	全体
平成25年度 （平成26年 1月実施）	83.5%	76.2%	<u>56.8%</u>	72.2%
平成24年度 （平成25年 3月実施）	84.5%	75.3%	60.2%	73.2%
前年度との差	- 1.0	+ 0.9	- 3.4%	- 1.0%

<参考>

平成25年度 全国学力・学習状況調査（6年生） 全国平均 66.2%

平成25年度 「基礎・基本」定着状況調査（5年生） 県平均 68.8%

（2）本校の課題

- ・児童に確かな学力が身に付きつつあるが、全国や広島県のレベルに十分に到達しているとは言えない。
- ・算数科に対する肯定的評価をする児童が全体的に昨年度より若干低くなっている。また高学年において、全国平均や県平均を下回っている。

■ 3 研究仮説

算数科において、スパイラル学習を通して基礎・基本の定着を図ったり、学力調査（全国学力・学習状況調査と「基礎・基本」定着状況調査）の結果分析を生かし思考力・表現力を育成する授業改善を行ったりすれば、児童に確かな学力を身に付けることができるであろう。

■ 4 研究内容

（1）基礎・基本の定着

- ①のびっこタイムの充実
- ②西風タイムにおける習熟度別学習の活用
- ③西小計算検定の実施
- ④家庭学習の内容の充実（個に応じた課題）

（2）算数科の時間における授業改善

- ①学力調査の結果分析を授業に活用
- ②西小学びのサイクル・西小学習パターンに沿った授業展開の工夫
- ③ノート指導の定着→ノートコンクールの実施
- ④言語活動の充実→学習指導案の中に位置付け

■ 5 検証の指標

- (1) 児童アンケートによる算数科に対する肯定的評価の児童
(低学年 80%以上 中学年 75%以上 高学年 70%以上)
- (2) 学期末評価テストによる正答率
(低学年 80点以上の児童が全児童の90%以上
高学年 70点以上の児童が全児童の90%以上)
- (3) 学力調査の正答率・通過率
(「基礎・基本」定着状況調査 算数科平均通過率 …… 広島県の平均通過率以上
全国学力・学習状況調査 算数A平均正答率 …… 全国の平均正答率以上)
- (4) 児童のノートやワークシートの記述内容・発表内容
(授業における評価規準)

2 検証計画

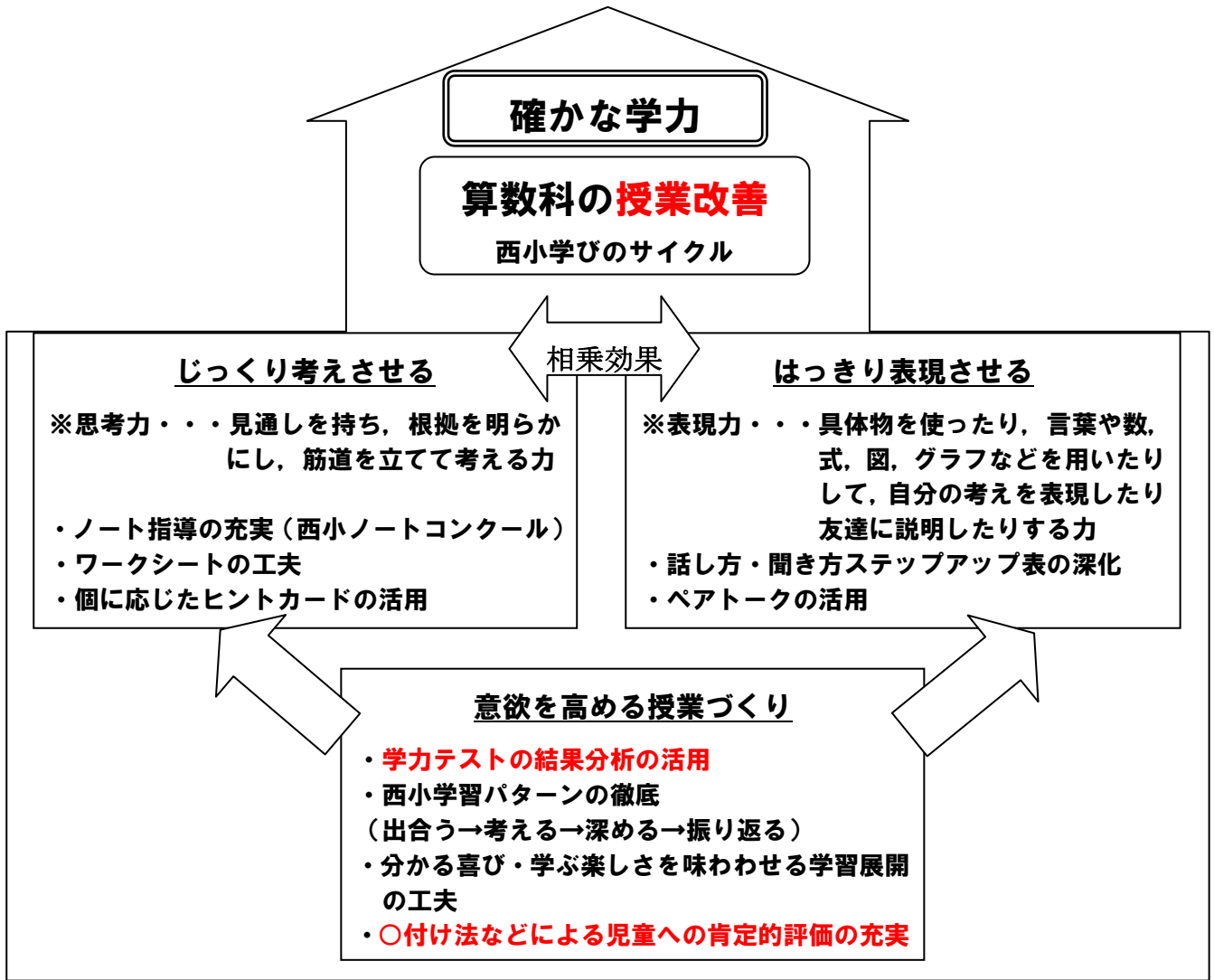
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意識調査 ○ 全国学力・学習状況調査 (第6学年) ○ 「基礎・基本」定着状況調査 (第5学年) ○ 授業研究 ○ 評価テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童アンケートによる肯定的評価の割合 ・ 算数科Aの平均正答率 ・ 算数科の平均通過率 ・ 児童の記述内容や発表内容の分析 ・ 学期末テストの正答率
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究 ○ 評価テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の記述内容や発表内容の分析 ・ 学期末テストの正答率
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究 ○ 評価テスト ○ 児童の意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の記述内容や発表内容の分析 ・ 学年末テストの正答率 ・ 児童アンケートによる肯定的評価の割合

※ 研究構想図

<研究主題>

確かな学力を身に付ける児童の育成

～学力調査の結果分析を生かし、思考力・表現力を育成する算数科の授業改善を通して～



基礎・基本の定着

<繰り返し学習の充実>

- ・のびっこタイムの充実
- ・西小タイムの効果的な活用

<西小計算検定>

- ・百マス計算による計算力のレベルアップ

<家庭学習の習慣化>

- ・学年に応じた内容の充実
- ・個に応じた課題

3 校内研修計画

月	全体研修	ブロック研修	推進委員会	その他
4	○研修推進計画 (方向性の確認など)		○研究推進計画の立案	○全国学力・学習状況調査(第6学年) ○ 体育実技研修
5	○理論研修 講師：未定		○たんぼぼ学級事前研修	○児童アンケート
6	○サテライト研修 (6月3日) 講師：未定 ○授業研究 (たんぼぼ学級) 講師：未定	○授業研究 (高学年ブロック)	○理論研修を受けて ○全体研修の事前研修 ○指導案の形式について	○「基礎・基本」定着状況調査 (第5学年)
7	○授業研究 (中学年ブロック) 講師：未定	○授業研究 (中学年ブロック)	○1学期の研究のふりかえり ○夏期休業中の研修について	○学期末テスト
8	○研修報告		○2学期の予定について	
9		○授業研究 (低学年ブロック)	○全体研修の事前研修	
10	○授業研究 (低学年ブロック) 講師：未定		○全国学力調査及び基礎・基本定着状況調査について	
11				○小中合同研修会
12			○全体研修の事前研修 ○2学期の研究のふりかえり	○学期末テスト
1	○授業研究 (高学年ブロック) 講師：未定		○本年度の研究の反省 ○研究のまとめについて	○児童アンケート
2	○研修のまとめ作成 ○研修報告		○次年度の研究の方向について	○ 図工研修
3			○次年度の計画についての確認	○児童アンケート (次年度に向けて) ○学年末テスト

※ 研究の進め方

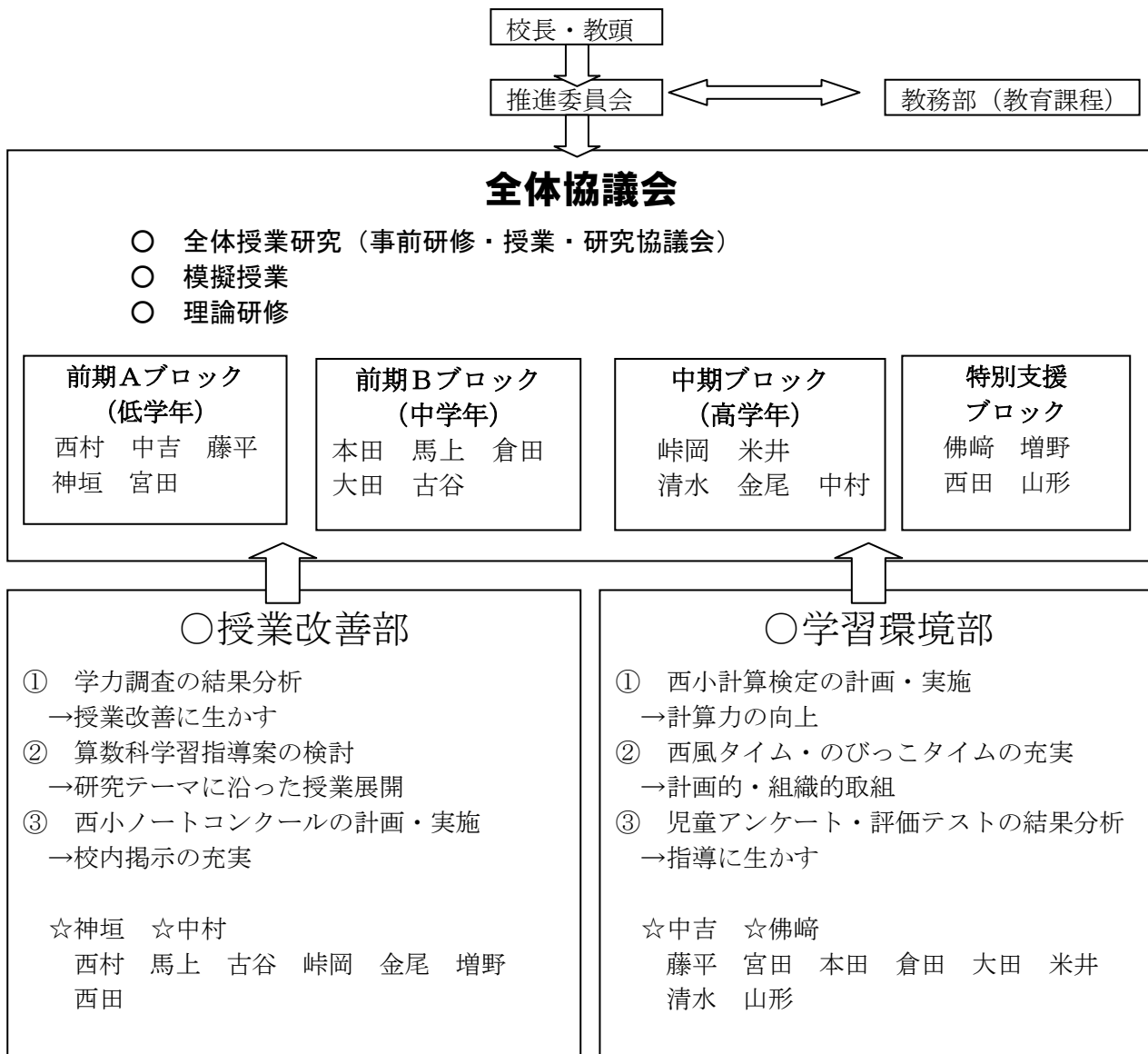
- ・ 授業のねらいと研究主題との関連を明らかにする。
- ・ 教材分析により授業の中での工夫や手だてを明らかにする。
- ・ 研究主題に迫るための検証方法と目標を明確にする。
- ・ 授業の評価方法を明確にする。
- ・ 協議の柱を明確にする。
- ・ 協議会の内容を今後の授業でどう生かせるか確認し、記録に残す。

※ 研究組織

確かな学力を身に付ける児童の育成

～学力調査の結果分析を生かし、思考力・表現力を育成する算数科の授業改善を通して～

工夫・改善を次の2つの研修部により研修を進める



4 研究公開の予定について

公開予定日	平成27年 2月15日 (日)
タイプ	報告型
公開範囲	地域・保護者
公開内容	算数科の授業